



登録時

《投与方法・併用禁止について》

エダラポン使用は、試験治療開始前に 担当医判断

介入群(アルテプララーゼ群)

通常治療群

発見後4.5時間以内、最終未発症確認から12時間以内に治療開始

・アルテプララーゼ

- ①溶解して0.6mg/kgの10%を急速投与
- ②残りを1時間で単回投与

・併用治療は原則使用しない
担当医判断で1剤のみ使用可(①を優先)

- 経口薬 ①アスピリン ②クロピドグレル
 - 静注薬 ①未分画ヘパリン ②アルガトロバン
- (併用禁止薬あり*)

治療開始

1時間

投与終了後
24時間

・1~3剤を用いて治療

- 経口薬 アスピリン
クロピドグレル
- 静注薬 未分画ヘパリン
アルガトロバン

(ヘパリンとアルガトロバンの併用禁止)
(併用禁止薬あり*)

25時間

これ以降

担当医師の判断により(アルテプララーゼ以外)は適切な治療を行う

使用禁止薬: 血栓溶解剤 ウロキナーゼ等

介入群におけるアルテプララーゼ以外は、試験開始日から試験終了日または中止まで使用禁止。

併用禁止療法: 脳血管内治療

ただし、被験者の利益性の観点から同治療が必要と判断される場合は、試験を中止する。この場合も、90日後までの追跡を行う。

* 併用禁止薬

- ・介入群: 試験薬投与終了後24時間以内
- ・対照群: 対照群試験開始後25時間以内

血小板凝集抑制作用を有する薬剤

チクロピジン塩酸塩、シロスタゾール、オザグレル、PGE1製剤、PGI2製剤
イコサペント酸エチル、サルポグレラート塩酸塩、ジピリダモール、トラピジル
ジラゼフ塩酸塩、トリメタジジン塩酸塩など

抗凝固薬

ワルファリン、ダビガトラン、リバーロキサバン、アピキサバン、低分子ヘパリン
フォンダパリヌクス、メシル酸ガベキサート、メシル酸ナファモスタット
メシル酸カモスタット、乾燥濃縮人アンチトロンビンIII、乾燥濃縮ヒト活性化プロテインCなど

有害事象 (adverse events)		(0h・24h・7日目・90日目)	No.
有害事象	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり(↓下記記載)		
有害事象名	<input type="radio"/> 脳梗塞再発 <input type="radio"/> 急性冠症候群の発症 <input type="radio"/> 頭頸部血行再建術の施行 <input type="radio"/> 他の心血管病の発症		
	<input type="radio"/> 症候性頭蓋内出血(*1) (*1) NIHSS4点以上増悪かつMRI上PHtype2		
	<input type="radio"/> 大出血(*2) (*2) 国際血栓止血学会の大出血基準に基づく頭蓋外の大出血; 致死的出血、重要な部位または臓器における症候性出血内(髄腔内、眼内、後腹膜、関節内または心膜、筋コンパートメント症候群を伴う筋肉内出血)、もしくはヘモグロビン値の2g/dL以上の低下をもたらす出血、全血または赤血球4.5単位以上(1単位は250ml相当)の輸血に至る出血を大出血		
	<input type="radio"/> 症状の進行(NIHSS4点以上の悪化)		
	<input type="radio"/> その他のイベント()		
発生日または発生を認めた日	年 月 日		
重篤度	<input type="radio"/> 死亡 <input type="radio"/> 死亡につながる恐れのあるもの <input type="radio"/> 治療のために病院または診療所への入院または入院期間の延長が必要となるもの <input type="radio"/> 障害 <input type="radio"/> 障害につながる恐れのあるもの <input type="radio"/> 上記に準じて重篤であるもの <input type="radio"/> 後世代における先天性の疾病または異常 <input type="radio"/> 重篤でない		
プロトコル治療との因果関係	<input type="radio"/> 関連なしとはいえない <input type="radio"/> 関連なし		
処置有無	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり(↓下記記載)		
処置詳細	<input type="checkbox"/> 事象の治療 <input type="checkbox"/> 治療の変更(中止含む) <input type="checkbox"/> 手術 <input type="radio"/> その他()		
事象の転帰	<input type="radio"/> 回復:完全に回復し、症状は全く認められない <input type="radio"/> 回復中:回復傾向にあるが、何らかの症状が認められる <input type="radio"/> 回復したが後遺症あり:回復したが何らかの症状が残っている 症状() <input type="radio"/> 未回復:症状は改善せず変化は認められない 症状() <input type="radio"/> 死亡 死因() 剖検所見有無 <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり		
消失または転帰確認日	年 月 日		

記入者 / / ()

入力者 / / ()

確認者 / / ()

THAWS スケジュール表

■ 介入群 □ 対照群

被験者番号: _____

被験者氏名: _____

	発症前	ベースライン	登録時(0h)	登録後から25時間 (±3時間)	Day7または退院時の いずれか早い時点 (±1日)	Day90 (±14日)
許容(-)				14/9/19 05:42	14/9/24	14/12/3
基準日			2014/9/18 7:42	14/9/19 08:42	14/9/25	14/12/17
許容(+)				14/9/19 11:42	14/9/26	14/12/31
実際の評価日						
試験薬投与			● 介入群			
背景因子		●				
急性期治療			●			
服薬状況	●				●	
バイタルサイン		●	●	●	(退院までに腹囲測定)	
ECG		●				
採血		●		●		
尿検査		●	(登録後から25時間までに)			
mRS	●				●	●
NIHSS		●		●	●	
JCS		●				
頭部MRI/MRA		●		●(登録後23-37h) 9/19 06:42 ~ 9/19 20:42	●(6~15日後) 9/24 ~ 10/3	
ICH発現確認				●(登録後23-37h) 9/19 06:42 ~ 9/19 20:42		
modified Mori grade				●(登録後23-37h) 9/19 06:42 ~ 9/19 20:42		
(頭部CT)		(●)		(●)		
頭部エコー		●		●		
脳梗塞病型確認					●	
有害事象			●			
重篤な有害事象			●			

担当: 古賀Dr、吉村Dr、CRC: 魚谷(8099)、CRC大原(8158)

～THAWS 画像判定試験 mRS 判定試験 マニュアル～

① <http://thaws.stroke-ncvc.jp/> に、アクセスして下さい。

The screenshot shows the THAWS website homepage. At the top, there is a navigation menu with links for TOP, ご挨拶 (Welcome), 概要 (Overview), 協力施設 (Collaborating Institutions), 登録症例数 (Registered Cases), リンク (Links), and お問い合わせ (Contact Us). The main content area features a large banner with the THAWS logo and a description of the study: "睡眠中発症および発症時刻不明の脳梗塞患者に対する静注血栓溶解療法の有効性と安全性に関する臨床研究". Below the banner, there are several sections: "症例登録状況" (Case Registration Status) showing 4 cases out of 300, "更新情報" (Update Information) with dates from 2014 to 2015, and two buttons for "THAWS参加施設資料集はこちら" (THAWS Participating Institution Materials) and "THAWS画像判定試験はこちら" (THAWS Image Judgment Trial). The latter button is circled and has a callout box pointing to it with the text "←THAWS 画像判定試験". Another callout box points to the "mRS判定試験" button with the text "←mRS 試験". A larger callout box at the top right says "どちらの試験を開始するか選択しクリックして下さい。" (Please select which trial to start and click).

※以下、THAWS 画像判定試験、mRS 判定試験の ID (メールアドレス)・パスワードは共通となります。

どちらか一方で初回登録すれば、次回からはどちらの試験にもログインできます。

② 『初めての方はこちら』をクリック

すでに登録済みの場合は、登録済みのメールアドレスとパスワードを入力。

『マイページ』へ移動します
→P3. <マイページ>の説明へ

The screenshot shows the THAWS login page. It has a header with "THAWS画像判定試験" and "THAWS". Below the header, there are two input fields for "メールアドレス" (Email Address) and "パスワード" (Password), and a "ログイン" (Login) button. At the bottom of the page, there is a button labeled "初めての方はこちら" (For first-time users, click here), which is pointed to by a large black arrow.

③『施設 ID』を入力し『次へ』

施設 ID は別紙『施設 ID 一覧』よりご確認ください。(半角でご入力下さい。)
→ P10. <施設 ID 一覧>

THAWS画像判定試験

THAWS

施設IDを入力してください

施設ID

次へ

Copyright (C) 2014 THAWS画像判定試験. All Rights Reserved.

③ユーザー登録をし、『登録』

THAWS画像判定試験

施設名 テスト施設

ユーザー登録

ID (メールアドレス)

パスワード

氏名 氏: 名:
※認定書に印刷されます

登録

ID : メールアドレス
パスワード : 半角英数字
(4文字以上 16文字以内で入力して下さい。)
氏名 : 氏、名それぞれ入力して下さい
(認定書に印刷されます。)

※ユーザー登録した内容は、登録後の変更ができません。
お間違えの無いように、ご確認の上登録お願いいたします。

<マイページ>THAWS 画像判定試験 →mRS 判定試験は P6. へ

THAWS画像判定試験

ログイン時の施設名・ユーザー名が自動表示されます

施設名 テスト施設 ユーザー名 国循環 太郎

ログアウト マイページ

マイページ 解説一覧へ 認定書印刷

これからTHAWS 画像判定試験をはじめます。
全部で10 問あります。
全問回答すると、合否判定を行います。
※問題は途中で終了できません。

全問回答すると、合否に関係なく解説を見る事ができます。
試験に合格すると認定書を印刷できます。

試験をはじめる

Copyright (C) 2014 THAWS画像判定試験. All Rights Reserved.

① 試験をはじめる

試験を開始します。全 10 問あり、10 分程度で終了を想定。

試験の途中で終了はできません。途中で終了した場合、回答済みの回答は記録されません。

② ログアウト

ログアウトします。

③ マイページ

基本のページとなります。

④ 解説一覧へ

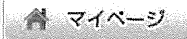
試験問題の解説を見ることができます。

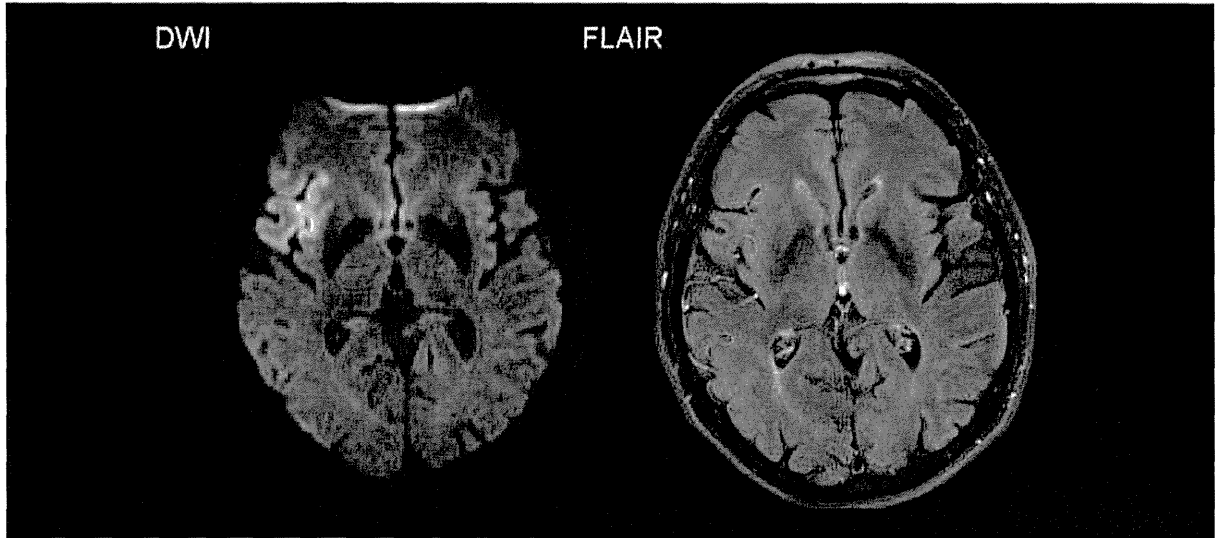
全問終了し、合否判定を行うまではクリックできません。一度でも合否判定まで完了すると、不合格の場合でも解説を見ることができます。

⑤ 認定書発行

試験に合格すると、認定書がダウンロードできます。

<試験問題ページ> THAWS 画像判定試験 →mRS 判定試験は P7. へ

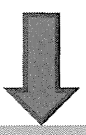
施設名	テスト施設	ユーザ名	国循 太郎	 ログアウト	 マイページ
画像判定試験					



- THAWSの試験対象として無作為割付を行う。
- DWI病変広汎、FLAIR陽性もしくは急性期脳出血でありTHAWS試験対象として無作為割付を行わない。
- 白質病変もしくはアーチファクトのため評価困難でありTHAWS試験対象として無作為割付を行わない。


次へ

回答はすべて3択です。
チェックして『次へ』進みます。



THAWS画像判定試験

THAWS

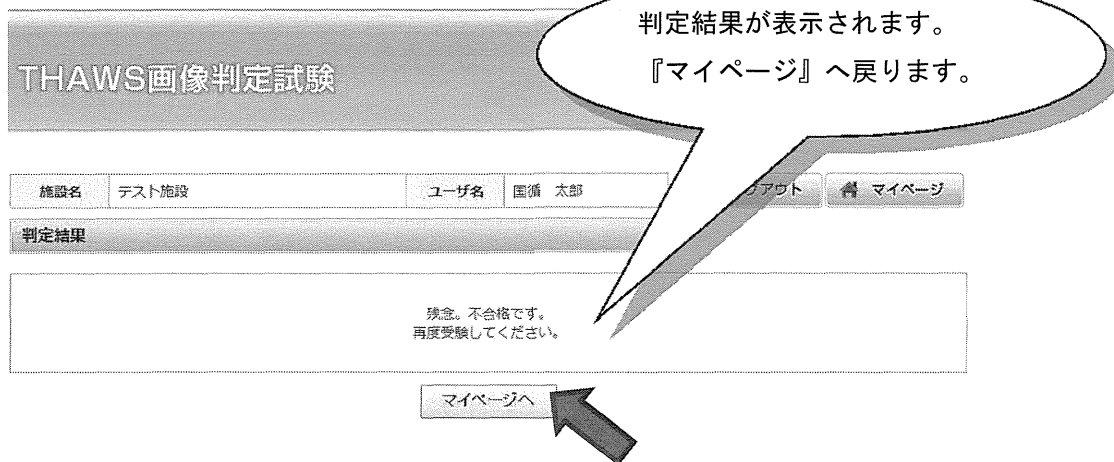
施設名	テスト施設	ユーザ名	国循 太郎	 ログアウト	 マイページ
合否判定					

全ての設問が終了いたしました。
『次へ』で合否を判定致します。

次へ

10問全て終了すると
合否判定を行います。
『次へ』クリック

<合否判定ページ> THAWS 画像判定試験 →mRS 判定試験は P8. へ

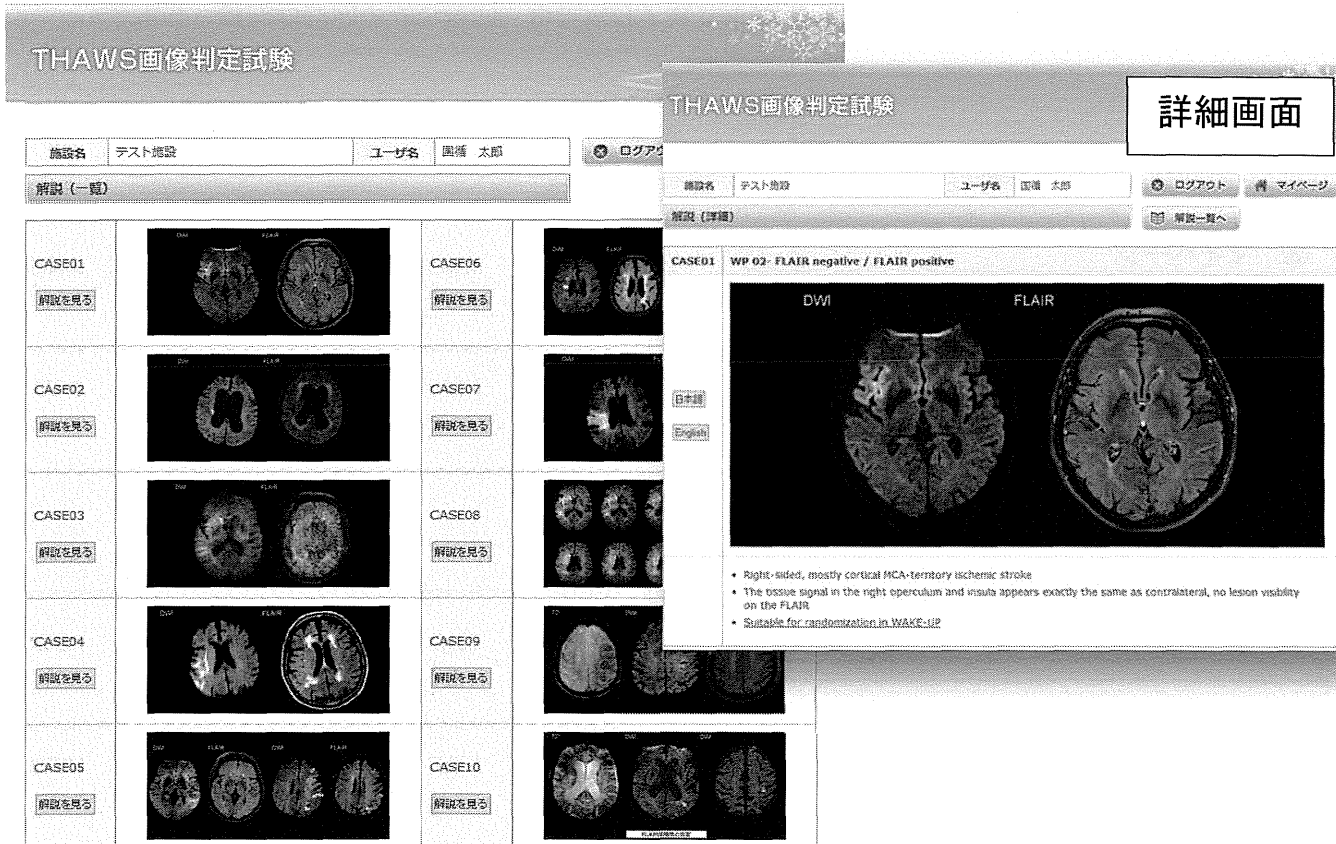


合格の場合 認定書をダウンロードし、添付ファイルを事務局担当者へメールでお送り下さい。
 ※『解説一覧へ』『認定書印刷』がクリックできるようになります。
 送付方法など詳しくは P9. をご参照下さい。

不合格の場合 再度試験を受けて下さい。
 ※『解説一覧へ』がクリックできるようになります。

<解説ページ>

試験問題の解説を見ることができます。
 『解説を見る』もしくは、見たい解説の画像をクリックすると、詳細が表示されます。



<マイページ>mRS 判定試験

ログイン時の施設名・ユーザ名が自動表示されます

Modified Rankin Scale

施設名 国立循環器病研究センター ユーザ名 国備 太郎

② ログアウト ③ マイページ

マイページ ④ 解説を見る ⑤ 認定書発行

これからmRS判定試験をはじめます。
全部で3問（症例1～3）あります。
症例1から3のmRSを回答してください。

④ 解説を見る ※Modified Rankin Scale (mRS)判定の基準は解説を参照

問題の内容は、診察室におけるmRS評価中の医師と患者の会話です。
会話の内容から患者のmRS判断し、mRS 0～5の中から1つ回答してください。
全問回答すると、合否判定を行います。
※問題は途中で終了できません。

試験に合格すると認定書を印刷できます。

① 試験をはじめ

① 試験をはじめ

試験を開始します。全3問あります。

試験の途中で終了はできません。途中で終了した場合、回答済みの回答は記録されません。

② ログアウト

ログアウトします。

③ マイページ

基本のページとなります。

④ 解説

mRS 解説、判定基準等が確認できます。

⑤ 認定書発行

試験に合格すると、認定書がダウンロードできます。

<試験問題ページ> mRS 判定試験

施設名	国立循環器病研究センター	ユーザ名	国橋 太郎	ログアウト	マイページ
-----	--------------	------	-------	-------	-------

症例 1 (85歳、男性)

医師： 脳梗塞が起こる前にできていたこと、例えば、こういった活動をしていたか、それが脳梗塞によってどんな影響を受けて、今は何ができるかといったことをお話いただけますか？

患者： ゴルフクラブの会員でよくゴルフに行っていました。週に3回ぐらいしていました。

医師： そこまでどうやって行っていましたか？車を運転して行っていましたか？

患者： はい。自分で車を運転して行っていました。

医師： その時点ではお仕事はなさっていましたか？

患者： すでに退職していました。

医師： 読書などはしていましたか？

患者： はい。よく本や新聞を読んでいました。

医師： 脳梗塞によって、生活にどんな影響がありましたか？

患者： 運転が出来なくなりました。

医師： その他の活動に関して、脳梗塞発症前に出来て、今は出来なくなっていることはありますか？

患者： 以前はビリヤードを趣味でやっていましたが、今は手の麻痺の影響で出来なくなりました。

医師： それでは、家で、身の回りのことについてはどうですか？

患者： 99%のことは、家内がしてくれています。洋服を用意したり、着替えたりするのは自分でできています。着替えるのは2分くらいでできるのですが、靴を履くのに、5分かかったりして、特にひもを結ぶのは本当に難しいです。

医師： それでは自分で靴を履いているのですか？それとも奥様に助けてもらっていますか？

患者： 今日は家内がでかけていたので、自分でしなくてはなりません。ご覧の通り、あまりうまくいっていません。自分ですると、今にもほどけそう、転びそうになります。

医師： お手洗いやシャワーはどうですか？

患者： 用を足すのは問題がありませんが、シャワーを浴びるのには助けがいらいます。滑りやすい足元で、どこにもつかまらないで、両手を使ってシャワーを浴びることに対して自信がありません。滑り止めのマットを敷いてはいるのですが、いずれにせよ、一人で背中を洗うことはできません。

医師： 奥様が、そばにいらっしゃらずに、たった一人であった場合、どれくらいの間、一人でいられますか？誰の助けもなく、どれくらい長いこと、一人でいられますか？

患者： そういったことを考えたことはありませんが、その場合問題になるのは、食べ物です。でも十分な食べ物が冷蔵庫に入っていれば、一週間でいいかなと自分でやっていけると思います。

医師： ...

患者： ...

医師： ...

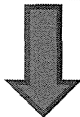
患者： ...

医師： ...

回答はすべて6択です。
チェックして『次へ』進みます。

- 0： まったく症状がない。
- 1： 症状があっても、明らかな障害がない。日常の勤めや活動を行える。
- 2： 軽度の障害。発症前の活動がすべて行えるわけではないが、自分の身の回りの世話は介助なしにできる。
- 3： 中等度の障害。何らかの介助を必要とするが、歩行は介助なしに行える。
- 4： 中等度から重度の障害。歩行や身体的要求には介助が必要である。
- 5： 重度の障害。寝たきり、失禁状態、常に介護と見守りを必要とする。

次へ

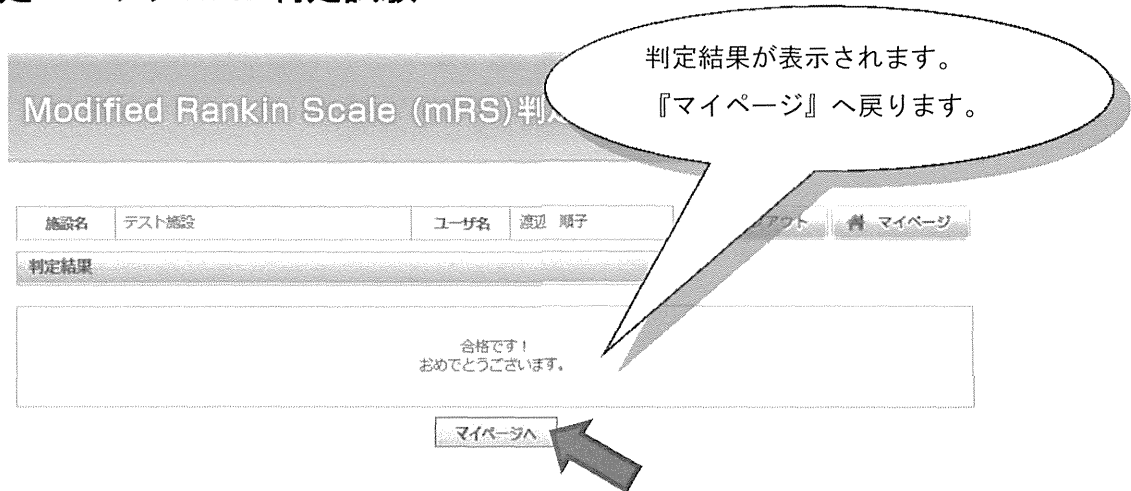


施設名	テスト施設	ユーザ名	国橋 太郎
合否判定			
全ての設問が終了いたしました。 『次へ』で合否を判定致します。			

3問全て終了すると
合否判定を行います。
『次へ』クリック

次へ

<合否判定ページ> mRS 判定試験



合格の場合 認定書をダウンロードし、添付ファイルを事務局担当者へメールでお送り下さい。
※『認定書印刷』がクリックできるようになります。
送付方法など詳しくは P9. をご参照下さい。

不合格の場合 再度試験を受けて下さい。

<解説ページ> mRS 判定試験

mRS の解説を見ることができます。判定基準について説明しています。

Modified Rankin Scale (mRS) 判定試験

施設名	テスト施設	ユーザ名	渡辺 順子	ログアウト	マイページ
Modified Rankin Scale (mRS)				解説を見る	

Modified Rankin Scale (mRS) は、脳梗塞を起こした後の機能障害を測定する方法です。脳梗塞発症後に新たに認められる症状のみを評価してください。歩行器やその他の必要な機械的な器具については、患者が第三者の介助なしに、使用しているのであれば、評価にあたり、考慮に入れる必要はありません。

2つの選択項目が同等に観察され、さらに詳細な質問事項を検討してもいずれかを選択することができないようである場合、重症度が高い方のカテゴリを選択する必要があります。

mRS 0	まったく症状がない
	軽症であっても、患者自身が脳梗塞による新たな制限や症状に気づかない場合。
mRS 1	症状があっても、明らかな障害がない：日常の勤めや活動を行える
	脳梗塞による、身体的あるいは認知的な症状が、患者にみられる。たとえば、言語、読み書き、身体的な動き、感覚、視覚、あるいは嚥下、さらに気分などに影響が見られるが、発症前に行っていた作業、社会的あるいは娯楽活動を継続して行うことができる。レベル1とレベル2（下記を参照）を判別する、決定的な質問項目は、「脳梗塞を発症してから、以前は行ってきたことで、できなくなってしまったことはありますか？」である。月に一回以上行われている活動であれば、「日常活動」としてみなされる。

<認定書送付方法> THAWS 画像判定試験 mRS 判定試験共通

認定書をダウンロードできます。

『ダウンロード』をクリックし、PDF をダウンロードします。

※ブラウザ safari ご利用の方は、認定書に名前が表示されません。

お手数ですが、他のブラウザ（Internet Explorer、Google Chrome、Firefox）で認定書ダウンロードを行って下さい。

THAWS 画像判定試験

THAWS

施設名 テスト施設 ユーザ名 国循 太郎 ログアウト マイページ

認定書印刷

THAWS
The Swedish for Assessing Walking and motorized Stroke with Obstacles at Home, Inc.

認定証書

国循 太郎 殿 本

あなたは THAWS 画像判定試験に合格しましたので、認定証を授与いたします。

2014 年 4 月 1 日

THAWS 画像判定試験委員会
委員長 佐々木真理
主任研究者 豊田 一則

認定書印刷

Modified Rankin Scale (mRS) 判定試験

施設名 テスト施設 ユーザ名 国循 太郎 ログアウト マイページ

認定書印刷

mRS THAWS
The Swedish for Assessing Walking and motorized Stroke with Obstacles at Home, Inc.

認定証書

国循 太郎 殿 本

あなたは mRS 判定試験に合格しましたので、認定証を授与いたします。

2014 年 4 月 1 日

主任研究者 豊田 一則

ダウンロード

ダウンロードした認定書は、下記事務局担当まで添付ファイルでお送り下さい。

国立循環器病研究センター 脳血管内科
事務局担当：古賀政利
秘書 神吉章子 kshoko@ncvc. go. jp
〒565-8565 大阪府吹田市藤白台 5-7-1
Tel: 06-6833-5012 Fax: 06-4863-7052

Web システムに関しましてご不明な点などございましたら、下記データセンターまでお問い合わせ下さい。
※本研究内容・項目内容につきましては、事務局へお問い合わせ下さい

THAWS 画像判定試験データセンター
(株式会社芝少 内) 担当：渡辺
Tel: 06-6375-0440 (平日 10 時～17 時)
E-mail: nvaf_data@stroke-ncvc.jp

REDCap 教育訓練記録

Page 1 of 1

プロトコル No.	M25-015 (THAWS)
対象バージョン	LTS5.0.9
教育種別	<input type="checkbox"/> 集合 <input checked="" type="checkbox"/> 個別
教育内容	システム利用者に対する教育 (各自で教材を熟読することによる自習)
実施日時	
場所	
講師	
教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ REDCap 入力要領 (基本操作編) ・ REDCap 入力要領 (THAWS 編)

受講者は、上記の教育訓練を受講し、その内容を理解した場合に以下に署名する。

所属/医療機関名	氏名	署名	日付

eCRF 構築責任者(ユーザ部門責任者)は、上記に署名した者が必要とされる教育訓練を終えたことを確認し、以下に署名する。

	氏名	署名	日付
eCRF 構築責任者 (ユーザ部門責任者) 確認			

(Validation 環境)

<https://redcap.ncvc.go.jp/redcap/>

(Non-Validation 環境)

<https://redcap-nv.ncvc.go.jp/redcap/>

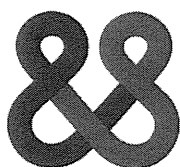


入力要領

(基本操作編)

2014年2月28日

Ver 1.00



国立循環器病研究センター

National Cerebral and Cardiovascular Center

REDCap (REmote Data CAPture) とは、米国 Vanderbilt 大学にて開発された臨床研究に特化した Web でのデータ収集システムであり、全ての権利は Vanderbilt 大学に所属します。

国立循環器病研究センターでは、Vanderbilt 大学と正式にライセンス契約を締結し、ソフトウェアの使用権が許諾され、当施設の研究者が主体となる臨床研究での支援に活用しています。

CONTENTS

1. はじめに.....	5
1.1 連絡先.....	5
1.2 環境設定.....	5
1.2.1 対象ブラウザ.....	5
1.2.2 ブラウザ設定.....	5
2. REDCap の基本的な操作について.....	6
2.1 画面構成および入力項目の種類.....	6
2.1.1 画面構成 (REDCap システム全体).....	6
2.1.2 画面構成 (研究用ページ).....	7
2.1.3 入力項目の種類.....	8
2.1.4 表記.....	9
2.2 システムのログイン・ログアウト.....	10
2.2.1 ログイン.....	10
2.2.2 ログアウト (システム全体のページ).....	15
2.2.3 ログアウト (研究用ページ).....	15
2.2.4 ログインパスワードを忘れた時 (Forgot your password?).....	16
2.3 症例データの登録.....	20
2.3.1 新規症例追加 (Add/Edit Records).....	20
2.3.2 既存データ呼出し (Add/Edit Records).....	24
2.3.3 既存データ呼出し (Record Status Dashboard).....	27
2.3.4 既存データの呼び出し(Event Grid (収集スケジュール)).....	28
2.4 入力データに対するチェック.....	29
2.4.1 入力時のチェックとは?.....	29
2.4.2 入力時チェック (Data Quality_Real-time execution).....	30
2.4.3 入力データに対する一括チェック (Data Quality) 実施方法.....	32
2.5 入力データに対するコメントの作成及び確認 (Field Comment Log).....	38
2.5.1 コメントの作成.....	38
2.5.2 コメントの確認.....	39
2.6 電子署名.....	40
2.6.1 前提条件.....	40
2.6.2 対象データの検索 (E-signature and Locking Mgmt).....	40

2.6.3	電子署名を行う (E-signature)	42
2.6.4	Lock 及び電子署名の解除 (データを修正したい場合)	43
2.7	カレンダー機能.....	44
2.7.1	スケジュール設定、予定追加 (Scheduling).....	44
2.7.2	カレンダー閲覧、予定追加(Calendar)	46
2.8	システムへのデータ取り込み	49
2.8.1	確認事項	49
2.8.2	方法.....	49
2.9	入力データの出力機能	52
2.9.1	PDF 形式 (Download PDF of...).....	52
2.9.2	CSV 形式 (Data Export Tool).....	54
2.10	ファイル格納機能(File Repository)	56
2.10.1	ファイルのダウンロード(User Files)	56
2.10.2	新規ファイルのアップロード(Upload New File).....	57
3. 紙での収集補助シート (PDF) の出力.....		58
3.1	紙での収集補助シート (PDF) の出力(Download PDF of...)	58
3.1.1	出力方法	58
4. 改訂履歴.....		60

1. はじめに

「REDCap システム」は、Web ブラウザを使用してデータ収集を行う EDC (Electronic Data Capturing System) です。本書には「REDCap システム」をご利用する際に必要な情報が記載されていますので、ご利用前に、必ず一度お読み下さい。

- 本書は『基本編』と『実践編』の 2 部構成になっております。『基本編』では、各研究に共通する基本的な操作について説明します。研究毎の症例報告書の内容については**研究毎の入力要領**(研究の画面説明)を参照して下さい。
- 本書に記載する画面は、実際の操作画面とは異なるサンプル画面です。あらかじめご了承下さい。

1.1 連絡先

研究実施に際し、疑義事項などありましたら研究班の中央事務局までお問い合わせ下さい。

1.2 環境設定

1.2.1 対象ブラウザ

本システムは、以下のブラウザでの動作を保証しています。以外のブラウザを使用した場合の保証はしておりませんので、その旨ご了承下さい。

- ✓ Internet Explorer 9
- ✓ Safari 6.0.4

1.2.2 ブラウザ設定

使用するクライアント PC の以下の点を事前に確認して下さい。

- ✓ ブラウザの Cookie の設定が無効になっている場合は、設定を有効にして下さい。
- ✓ Internet Explorer10 を使用の場合は、本サイトへの「互換表示」設定を有効にして下さい。
設定方法：初心者でもわかる! IE で互換表示 (IE8)

<http://support.microsoft.com/kb/2539126/ja> Microsoft Support より

2. REDCap の基本的な操作について

2.1. 画面構成および入力項目の種類

2.1.1 画面構成 (REDCap システム全体)

2. REDCap の基本的な操作について

2.1 画面構成および入力項目の種類

2.1.1 画面構成 (REDCap システム全体)

- ① ユーザー名及びパスワードを入力してログインする(『2.2.1 ログイン』(P.10)と、下記のような画面が表示されます。《My Projects》タブを選択すると、自分が関わっている研究名が表示されます。

The screenshot shows the REDCap user interface. At the top, there is a navigation bar with the user's email 'mesakaki@ncvc.go.jp', 'My Profile', and 'Log out'. Below this is the REDCap logo and a navigation menu with 'Home', 'My Projects' (selected), 'Training Resources', and 'Help & FAQ'. The main content area is divided into two columns. The left column contains a 'Welcome to REDCap!' message, a description of REDCap's capabilities, and a 'Learn more about REDCap' section with a video link. The right column contains 'REDCap Features' with bullet points: 'Build online surveys and databases quickly and securely', 'Fast and flexible', 'Export data to common data analysis packages', and 'Ad Hoc Reporting'. Below this is another 'mesakaki@ncvc.go.jp | My Profile | Log out' link. A 'NOTICE' section follows, and then a section titled 'If you require assistance or have any' with a link to 'Listed below are the REDCap projects to which you currently have access...'. This section contains a table of projects. A callout box on the left points to the 'My Projects' tab and the project list table, containing the text '自分が関わっている研究名が表示されます。'.

Project Title	Records	Fields	Instruments	Type	Status
DMStat J-PASSION	2	1,372	23 forms		
DMStat Test 01 (eCRF)	3	10	4 forms		
DMStat Test 02 (Survey)	6	25	2 forms 1 survey		
DMStat THAWS	0	187	18 forms		
DMStat ALGORITHM (WEntry)	11	387	3 forms		
DMStat PRAISE	10	261	16 forms		
DMStat FEBUXOSTAT	5	239	15 forms		

- ② 入力したい研究名をクリックすると、研究用ページが表示されます。(『2.1.2. 画面構成 (研究用ページ)』(P.7)参照)